



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

リハビリケア岡野です

リハビリ、最近は良く聞く言葉ですが、正式にはリハビリテーション、ラテン語が語源になっており、「再び適した状態になること」とあります。リハビリケア岡野では要支援、要介護の認定を受けた方々に心身の回復や悪化を防止し、ご自宅で安心して過ごしていただけるように、また介護の軽減など、語源通りのリハビリテーションを目指して、要支援、要介護同様に1、2の方々を対象として通所リハビリテーションを行っています。毎回、血圧測定・問診から始まり、利用されるお一人お一人の状態に合わせて、マシンを使った「パワーリハビリテーション」や、様々な運動プログラムを作成し治療に当たっています。ご希望の方はぜひ一度見学にいらしてください。

訪問看護日誌

「母に認知症という病名がついた時には、目の前が真っ暗になりました」そう言いながらも献身的にお母様の面倒を見ておられる娘さんです。最初の頃は、涙ながらにお母様のわがままを訴えることも多くありました。そんな時は、お話を伺いながら、「こんな風にしてもらいたいかでしょう」「お母様はこう思わ



れたのかもしれないよ」と、一緒に考えさせて頂くようにしていました。薬を飲むのを嫌がっていたお母様に手を焼いていた娘さんから、「私も一緒に薬を飲むことにしたの、私のはサプリメントだけど。そうしたら機嫌よく飲んでくれたの。これからも色々な工夫をしてみます。また相談に乗ってくださいね」と、嬉しい報告です。

ひげトク(つ)む



先日、地域連携の訪問看護ステーションの看護師たちの勉強会「みんなの輪」が中央公民館で行われました。月一度、多くの看護師、ケアマネージャー、薬剤師が集い、処置の向上、新しい機械の対応など、積極的にスキルアップを図ろうとしています。今回初めて出席された越谷市医師会会長への大きな要望は、「訪問医師を増やしてほしい」というものでした。私も「在宅支援委員会」委員長として、今後も積極的に訪問医師を募り、医師たちの勉強会の充実を図るべく努力していこうと考えています。

食のすすめ 〜離乳食が始まります〜



離乳期開始前の子どもにとって、母乳または育児用ミルクは最適な栄養源ですが、生後五〜六か月になると、離乳食が必要に

なります。最初は一日一回、飲み込むことや舌触り、味に慣れさせることが大切です。その後、舌でつぶせる硬さのものや、歯ぐきでつぶせるものなどを工夫しながら二回、三回と離乳食の回数を増やして行きま。食事の量については、成長曲線のカーブに沿っているかを確認して対応します。規則的な食事で生活リズムを整え、様々な食品の味や舌触りを楽しむ、家族との食卓を楽しむ、手づかみでも自分で食べることを楽しむ、といった食べる楽しさをより多く体験させるようにしましょう。

すたっふ便



猛暑が続く八月ですが、暦の上では上旬には立秋。そのためでしょうか、「葉月」の他に、「月見月」「秋風月」などの異名があります。どれも仲秋を感じさせますね。ご連絡事項が二つあります。

■クリニックで受けられる肺がん検診は十日までです。まだの方は早めに受けるようにしましょう。

■後期高齢者、国民健康保険の方は、八月一日から保険証が変わります。お間違いないようにお願い致します。

八月の予定―葉月

休診日 一日 八日

十三日 十四日 十五日
十六日 二十二日 二十九日

